

星空ガイド 須賀 宇多 氏

仕事をリタイアし、親の介護を終えたらリゾート暮らしという当初の予定通りこの地に移住。9年半程になります。大自然に囲まれ気儘に絵を描き、愛犬凜子との暮らしを満喫していましたが、2年少し前最愛の凜子に旅立たれ、めそめそと何も手につかぬ毎日。そんな時ジオパークガイドをしている夫に誘われ『自然散策ガイド』に同行、美しい景色と可愛らしい野草を眺め、お客様との会話に加えてもらううち、しばしめそめそを忘れることが出来ました。その後ひよんな事から『星空ガイド』をとのお誘いがあり、思い切って足を踏み入れてみました。72才にしてPCを学び、2か月間先輩ガイドのレクチャー見学。人生初の猛勉強!!2年前の11月大胆にも『星空ガイド』デビュー。そしてその奥深い世界にはまり文字通り果てしない宇宙、考えても考えても理解を超える広大さ。旧石器時代の「ラスコー壁画」に記された「昴」大三角等、世界最古の星の記録。その同じ星を、空を、現代の私達も眺めているという壮大なロマン。各季節の主役の星座達。その位置と動きから繰り広げられる様々な天界のドラマ。それを知り星空を眺めると、更にワクワクが広がります。そして今まで自分が知り得た、宇宙の事、星の事、それを学び眺める楽しさを少しでも人に伝え、楽しい時を共有する。それがガイドの醍醐味。そんな気持ちで1日でも長く『星空ガイド』を続けて行きたいと思っています。



写真家 小林 利男 氏

「星空を撮る心得」

私が山岳写真の一環で星空の撮影も手掛けるようになったのは、百武彗星の撮影がきっかけでした。

天文写真を撮る知人から撮影場所とコツを教えてもらい、富士スカイライン水ヶ塚付近からぼんやりとしか見えない彗星を探し当て、無事に撮影することができたことはうれしい成果でした。それから肉眼でも見えたヘールポップ彗星やしし座流星群など、カメラに収めてきました。皆既月食は普段では月明りでかき消される星々も撮影できる絶好のチャンスですが、このような珍しい現象を撮影するには恵まれた天候条件が必須です。これまでの20以上にわたる機会では、雪や雨、雲や飛行機などでことごとく阻まれてきました。11月8日の皆既月食では何も邪魔されず最初から最後まで星々との共演を撮影することができ、感慨深いものとなりました。これまでの撮影経験を通してぜひ皆さんにお伝えしたいのは、何度失敗しても意思を貫いて自分が思い描いている星空風景写真に挑戦し続けてほしいということです。

※浅間山周辺は星空が撮りやすい好環境に位置しています。

レンズの絞りのコツですが、富士山を撮るときより暗いので、2段階明るくしても星がたくさん写ります。ぜひチャレンジして良い写真を撮って下さい。



あさまびと

ASAMA-BITO

地域の成り立ちから、地球の成り立ちを知る SDGs x ASAMA

特集：夜空を見上げよう



浅間山北麓は2000m以上の山々に囲まれた高原台地で1000m前後の標高があります。人工物が少なく森林が多いので夜空を照らす光は少なく空気が綺麗です。晴天率の統計を見ると晴天日数は232日約56%とランキング1位の香川県63%に近い確率で星空を見ることが出来ます。この天然資源を十分に生かして星空を観察してみましょう。

ジオパークからのお知らせ

9月23日・24日に浅間山北麓地域で関東大会が開催されました。関東のジオパークから参加された方は計81名でした。大会の様子はYouTubeにてご覧いただけます。



10月21日から23日にかけて、石川県白山市にてジオパーク全国大会が開催されました。「地球と旅する」をテーマに多くの知見を得られた大会でした。



来年3月に浅間山ジオパーク認定ガイド養成講座が開催されます。日程は未定のため、決まり次第HP等でお知らせいたします。

発行：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council 制作担当：広報・観光委員会

〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原494-45 TEL/FAX：0279-82-5566 URL：www.mtasama.com E-mail：info@mtasama2568.xsrv.jp Facebook：www.facebook.com/asamageopark Twitter：https://twitter.com/home

ガイドの受付しています

「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。

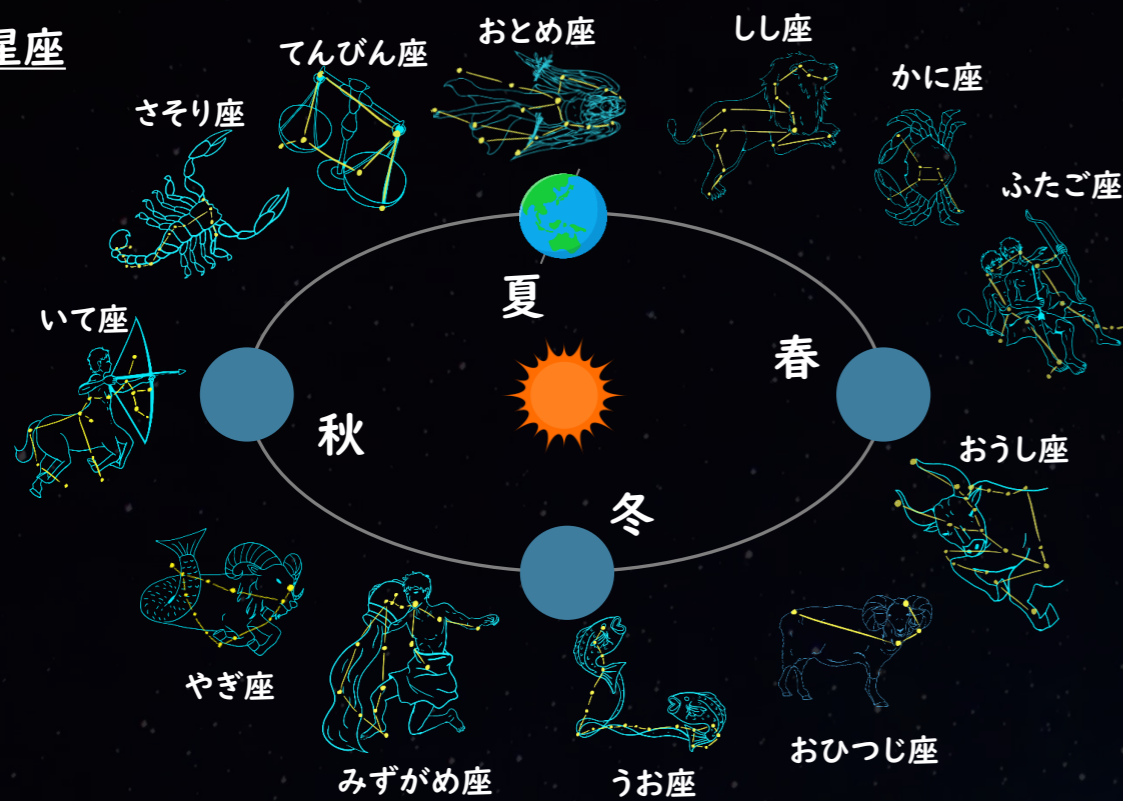
【料金】*ガイド1名あたりの値段 平地：半日6,000円 1日12,000円(参加者11名以上はガイド2名) 軽登山：半日10,000円 1日15,000円(参加者8名以上ガイド2名) 登山：1日25,000円(参加者8名以上ガイド2名)

編集後記

関東大会・全国大会と大きなイベントが連続していましたが、このまま息切れせずに日々の業務を行いたいと思います。

人の営みと共にあるお星さま

誕生星座



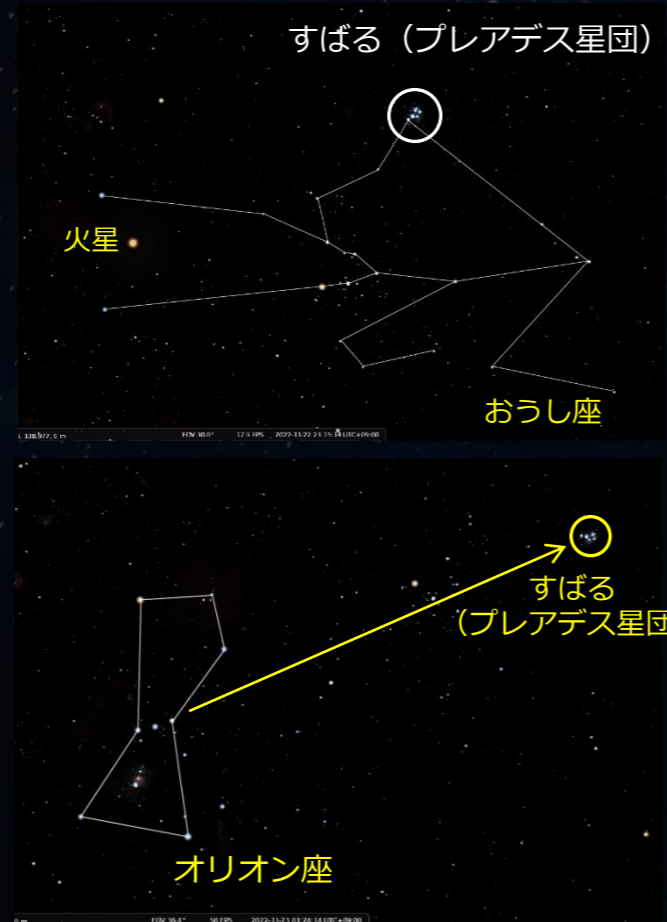
現在も星座占い等で知られている誕生星座は紀元前1100年頃メソポタミア地方のカルデア人が発案したといわれています。牧羊民族である彼らにとって季節の変化を予測することが重要であったので、神様としてあがめられていた太陽と共に現れ共に沈む星座を季節ごとに12個決めたのが始まりだといわれています。

すばる

寒い冬空に6つほどの星が群れて見えるのがプレアデス星団です。日本名は「すばる」。平安時代に著された枕草子にも「集まって1つになる」という意味でつかわれていた古い言葉です。浅間山北麓地域では、「すばる」がおうし座と共に真南に上るころが蕎麦や麦をまく最適の時期として利用されてきました。

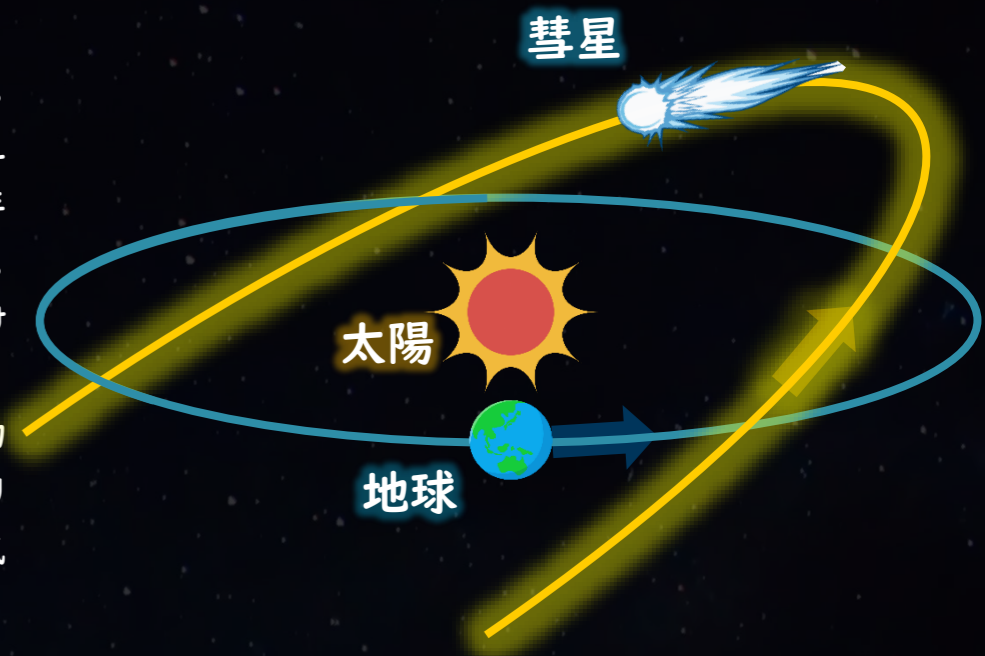
【すばるを見つけるヒント!】

- ①冬の代表的な星座「オリオン座」をまずは見つけてみましょう。
- ②オリオン座の中心の三ツ星から、右の延長線上に視線をずらして行ってください。
- ③よく見ると、なにかぎゅっと星が集まったような場所が見えたら、それが“すばる”です。



しぶんぎ座流星群

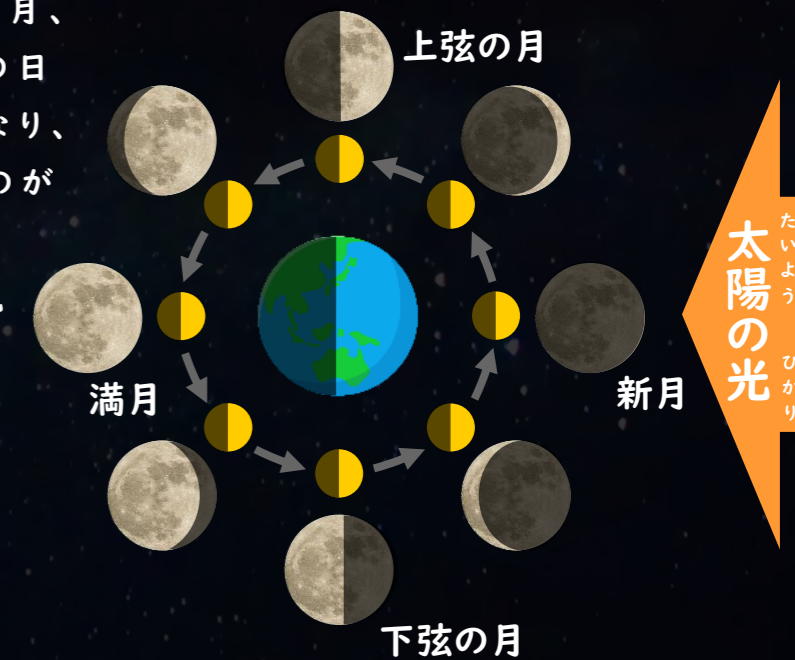
1年の最初を飾る流星群です。三大流星群のひとつとして数えられますが、流星の出現数は年によってかなりムラがあります。1月3日の深夜から4日の明け方が一番の見頃です。流星群は、太陽の周りを定期的に回っている彗星が残したチリの中を地球が通り、チリが大気圏で発光することで起きます。



月

月は、地球の周りを約29.5日で1周します。月がちょうど太陽の方向にあるときが新月で、それから90度ずつ進むと、上弦の月、満月、下弦の月となっていきます。満月の日に、太陽と地球と月がちょうど一直線となり、月が地球の影にすっぽり入ってしまうのが皆既月食です。

今年11月8日に見られましたが、次見られるのは2025年の9月8日です。夜空で見ている宇宙では色々な事が起きています。星を見ながら不思議に思ったことを調べて謎を解き明かしていくと面白いかもしれません。



ちよこつと豆知識

浅間牧場 (天丸山)

浅間牧場は、北軽井沢の別荘地の中心街に近い位置にある、標高1,300mに広がる800haの県営牧場で、1882(明治15)年に北白川宮能久親王によって放牧場として開設されました。牧場は火山体の上に設けられており、堆積した浅間山の噴出物により、なだらかな地形が広がっています。

牧場にある天丸山は特に星がきれいに見え、長野県小諸市にある安藤百福記念センターでは、毎年パール浅間と称して浅間山の山頂に月が重なる瞬間を見るツアーを企画・開催しております。ぜひご参加ください。ツアーのお知らせは安藤百福記念センターホームページのほか、浅間山北麓ジオパークのホームページにもアップされます。

